

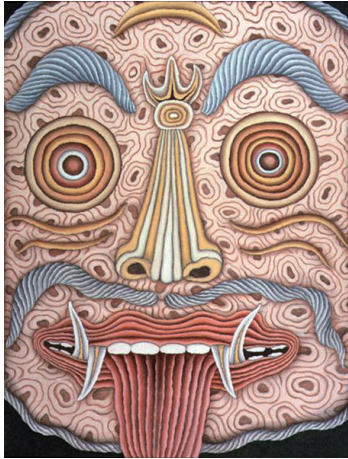


福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

ドロドロロンーアジアの妖怪屋敷

2008年7月3日(木)ー9月30日(火)

アジアギャラリーA



イ・デウ・プトウ・モコ「ボマ(魔除け)」

お化けや妖怪って日本だけのもの？いいえ、お化けや妖怪はアジアの各地にもいるといわれています。昔から、森や山、海や川といった自然の中に、たくさんの不思議な妖怪たちが住み、人を驚かしたり、助けたりしていると、信じられています。

さて、アジアの美術作家たちが作った作品の中にも、そうした妖怪たちがたくさん登場します。ここでは、福岡アジア美術館の所蔵品から、そうした妖怪たちの作品を集め、この夏限定の妖怪屋敷を作りました。妖怪たちは、姿かたちが怖いものもあれば、ユーモラスなものもあります。昔から有名な妖怪もあれば、中には作家が作った全く新しい妖怪(?) もいます。神話に登場する人食い鬼、自然の強大な力を表した怪物、半人半獣の不思議な生き物、そして妖怪のような人間などなど。怖くて、おもしろいアジアの妖怪たちと、肝だめしといきましょう。さてさて、涼しくなれるでしょうか？

妖怪？お化け？神さま？アジア各地に生まれたへんてこな生き物たちを描いた作品をご紹介します。

イ・デウ・プトウ・モコ(インドネシア)
ボマ(魔除け) 1992 アクリル・画布

ハリアディ・スアディ(インドネシア)
魔力と護符 II 1980
魔力と護符 I 1980
プトロ・コロの物語 1996
ブラーク 1986

すべて アクリル・ガラス

サイード・アハメッド・ホセイン(バングラデシュ)
ブラーク(半人半馬の神獣)
1994 油性ペイント・ブリキ

リ・ミンズ(李明則)(台湾)
左営の風景 2001 アクリル・画布

ドルヴァ・ミストリー(インド)
見張る守護神-4 1985 着色・石膏

「リトル・バード」習作
1984 インク、パステル・紙
「見張る守護神 1」習作
1984 鉛筆、パステル、チョーク・紙
「見張る守護神 3」習作
1985 グラッシュ、インク・紙

デー・ブアサーン(タイ)
雨季の最後の朝 2005 アクリル・画布

ハヌラ・ホセア(インドネシア)
歩く、手をたたく 2003 DVD(6分10秒)

ニルーファル・チャマン(バングラデシュ)
貝殻と水にもぐる蓮 2 1998 アクリル、油彩・画布

角孝政(日本)
装甲可変生命体:フィッシュ、硬魚
マンティス、ハナカマキリ
カラッパ
2002-03 FRP、モーター、バッテリー

アジアの中でも、特にインドネシアには、神話や人形劇(ワヤン)や祭礼などに妖怪たちが登場します。このコーナーでは、インドネシアの作品を集めています。

アナック・アゲン・グデ・メレゲッ
バーラタ・ユダの戦い 1973 アクリル・布

イ・クトゥット・ブディアナ
守護神 1983 水彩・紙
パロン 1985 アクリル・紙
母なる大地の力 1999 アクリル・画布 *作家蔵

イ・グスティ・ヌンガ・ヌラタ
人生のバランスを成しとげるために
1987 油彩・ハードボード
黒の中の白 1983 油彩・ハードボード

マデ・ディニ 動物 1984 木

作家不詳 マンダラ山の回転 制作年不詳 バリ伝統顔料・布

イダ・バグス・タントラ 巨大な豚 1985 木

姿かたちは恐ろしくて、まるで妖怪。でも描かれているのは、実は人間です。彼らはどうして、妖怪のようになってしまったのでしょうか。

ヌネルシオ・アルヴァレード(フィリピン)
仮面の女王 1998 油彩・画布

ヘリ・ドノ(インドネシア)
愚にもつかないおしゃべり 1991 油彩、紙・画布

ヴェド・ナヤル(インド)
人類-2192 1992
アクリル、木炭・画布/アルミニウム、木、チューブ

ジャガト・ウィーラシンハ(スリランカ)
首の長い男 1 1992 油彩・布